

15. 旧ノートルダム修道院

所在地 福島市花園町3-6

1. 修道院建設

- ・昭和10年（1935） 建設（木造二階建外壁モルタル仕上）
 - ・旧コングレガシオン・ド・ノートルダム修道院（のちマルグリット・ブルジョワセンター）は、昭和10年（1935）キリスト教宣教のため、カナダから来日したコングレガシオン・ド・ノートルダム修道会により建設。

●設計者について

「この修道院が昭和10年に建てられた当時は、周囲一面が田んぼで、チェコ人のヤン・ヨセフ・スワガー氏の設計と横浜市の関工務店による洋風の建築はたちまち市内の名所となったという」（注1）



昭和30年地図の位置

2. 歴史

- ・修道院の一部に設置された「雛菊幼稚園」、「霞内医院」は、昭和16年（1941）に戦争が勃発すると閉鎖され、修道院は政府に強制的に借り上げられ、イギリス人を主とする民間人約140人の抑留所とされ、修道女たちは、会津若松市に軟禁されました。
- ・戦後、修道院は19名の戦災孤児を受け入れて養育し、この子供達への教育が基となって「桜の聖母学院」が誕生しました。

3. 東日本大震災被災、解体

- ・平成23年（2011）3月11日 東日本大震災により屋根・外壁及び屋内天井・漆喰壁に大損傷

12月 解体

【注】

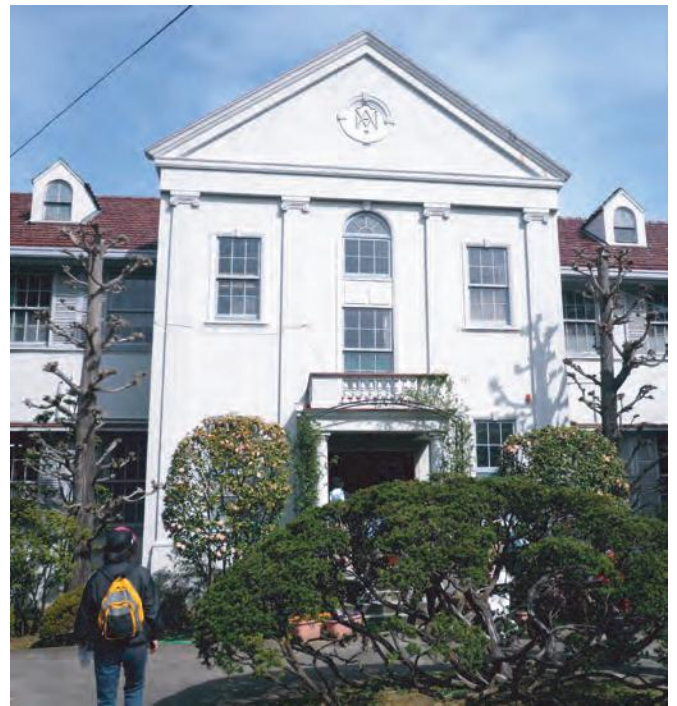
1. 「福島県の近代化遺産」福島県教育委員会 2010

【参考文献】

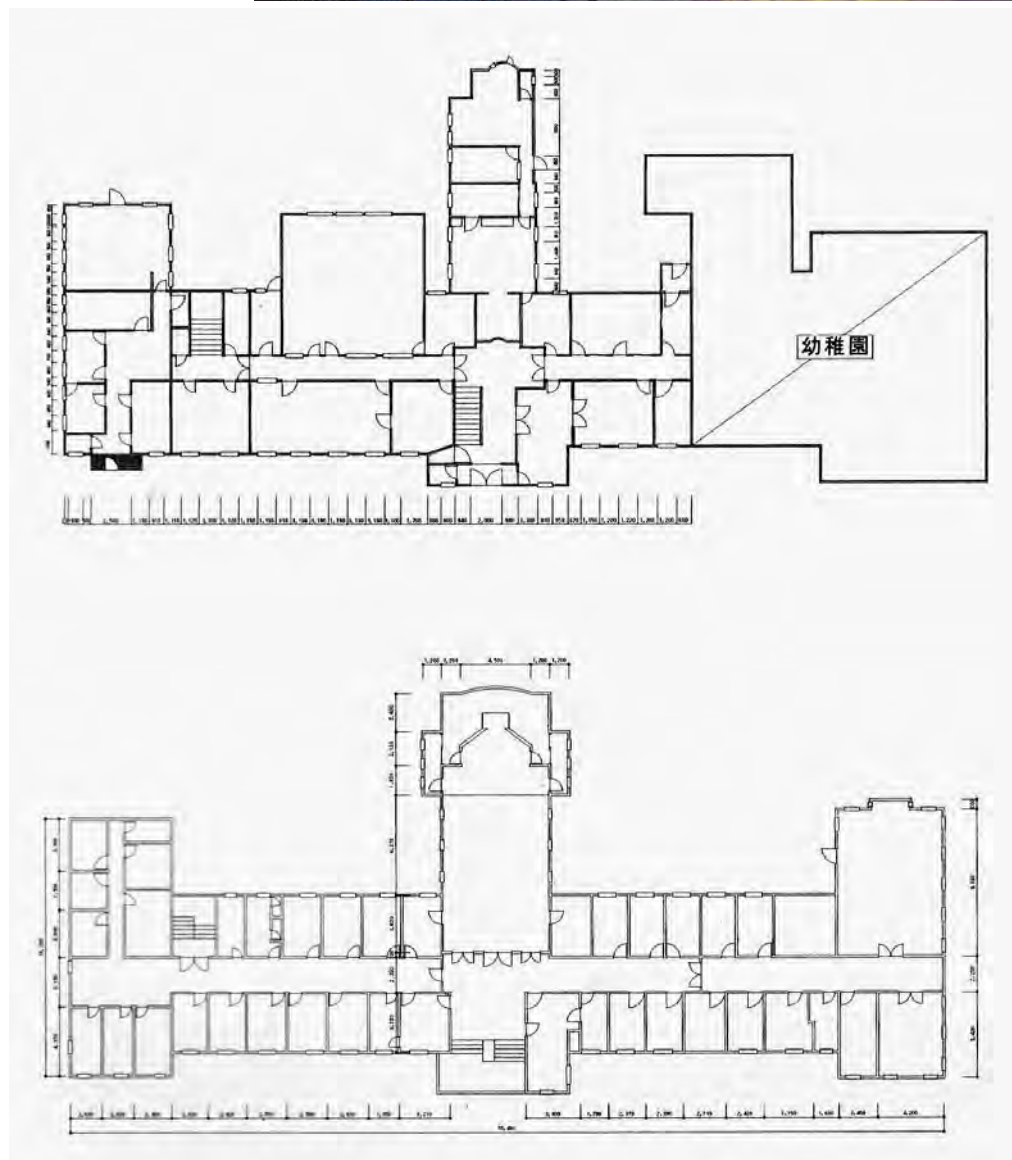
1. 「旧ノートルダム修道院」
コングレガシオン・ド・ノートルダム記念室



旧ノートルダム修道院 *



旧ノートルダム修道院 *



平面図（注1）